

～スケジュールどおり順調に進んでいます～

新ごみ処理施設の事業者選定に着手します

本市と羽生市が共同でごみ処理施設を整備するため、令和4年4月1日に行田羽生資源環境組合を設立しました。組合では、予定している令和9年度中の新施設稼働を目指し、現在、施設規模や配置などの方針を定める施設整備基本計画の策定、民間活力導入に関する調査、周辺環境への影響調査を行っています。また、建設予定地では、埋蔵文化財発掘調査が始まっています。

2月1日の組合議会において、施設の建設費および運営事業費の債務負担行為[※](令和6年度から令和30年度までにおける総事業費)が盛り込まれた令和5年度当初予算が可決されました。これにより、スケジュールどおり令和5年度から施設建設に向けた事業者の選定に着手することになります。

事業者の選定に当たっては、学識経験者などで構成する専門の委員会を設置し、公平公正な審査、評価を行います。

※債務負担行為とは、将来にわたって支払う内容をあらかじめ定めておく制度です。



埋蔵文化財発掘調査の様子



施設建設予定地(小針クリーンセンター隣接地)

新たに整備する施設の種類と規模(予定)

施設の種類	ごみの種類	規模
ごみ焼却施設	可燃ごみ	126トン/日
マテリアルリサイクル推進施設	不燃・粗大ごみ	12トン/日
	かん類	2トン/日
	ペットボトル	3トン/日
剪定枝資源化施設	剪定枝	5トン/日
資源物ストックヤード	かん類・ビン類 紙類・布類 ペットボトルなど	—

施設整備スケジュール(予定)

	令和4年度 2022年度	令和5年度 2023年度	令和6年度 2024年度	令和7年度 2025年度	令和8年度 2026年度	令和9年度 2027年度	令和10年度 2028年度
施設整備基本計画策定業務	■						
PFI等導入可能性調査業務	■						
生活環境影響調査業務	■	■					
埋蔵文化財発掘調査業務		■					
事業者選定業務		■	■				
施設整備工事			■	■	■	■	
新ごみ処理施設稼働							➡

▶問い合わせ 行田羽生資源環境組合 ☎577-8106